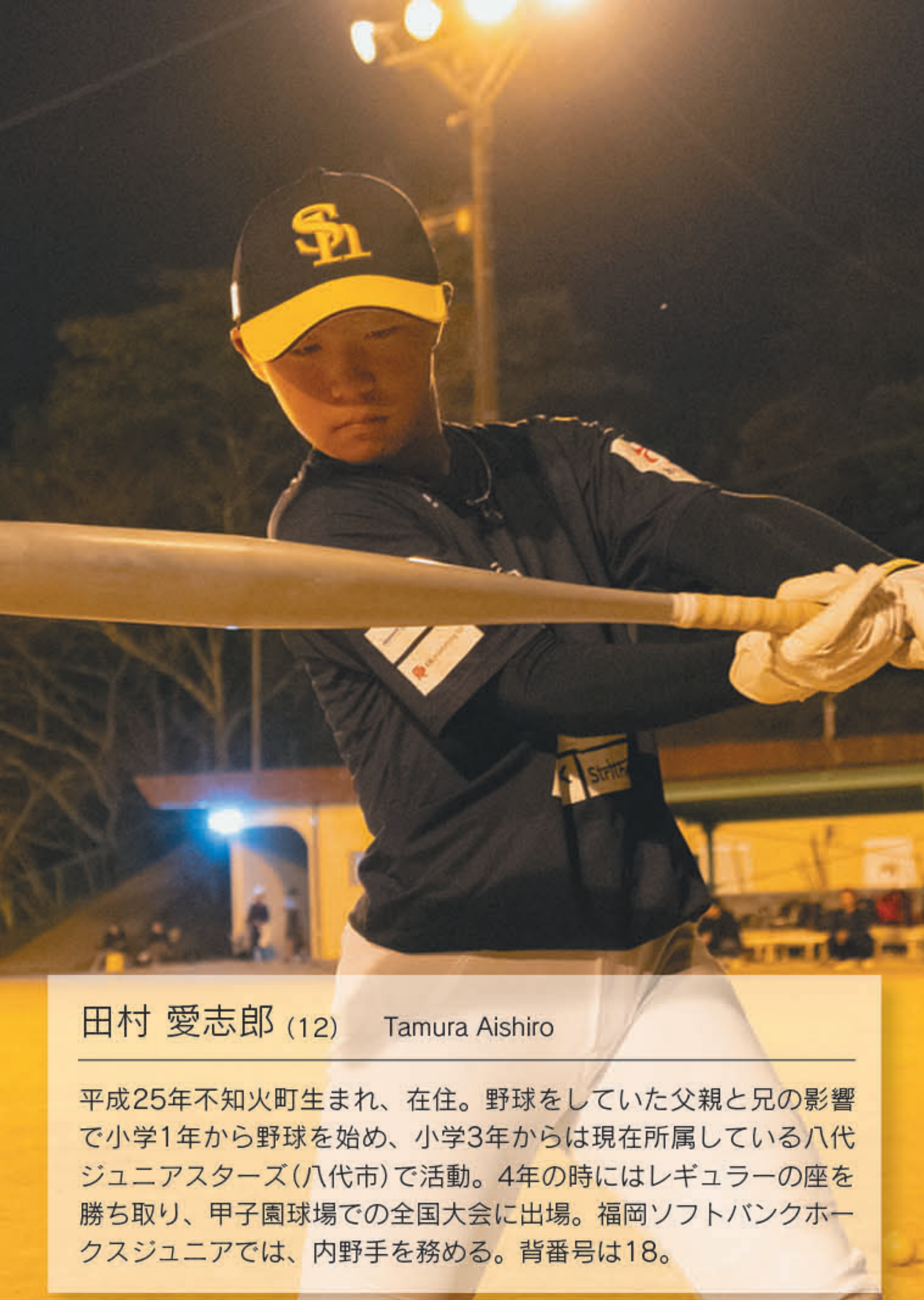




田村 愛志郎 (12) Tamura Aishiro

平成25年不知火町生まれ、在住。野球をしていた父親と兄の影響で小学1年から野球を始め、小学3年からは現在所属している八代ジュニアスターズ(八代市)で活動。4年の時にはレギュラーの座を勝ち取り、甲子園球場での全国大会に出場。福岡ソフトバンクホークスジュニアでは、内野手を務める。背番号は18。

新連載！／ スポットライト SPOTLIGHT —今をきらめくひと— vol.1

今回は、約3,800人の応募の中から福岡ソフトバンクホークスジュニアの選抜メンバー16人に選ばれた田村愛志郎さんを紹介します。



先輩への思いと
家族、監督、仲間
への感謝を糧に

背番号18。

照らされたグラウンドで力強くバットを振るのは、八代ジュニアスターズに所属する田村愛志郎さん。田村さんは、福岡ソフトバンクホークスジュニアのメンバーに選出され、今月26日から東京都と神奈川県で行われる「NPBジュニアトーナメント」に出場する。この大会は、プロ野球12球団のジュニアチームを中心とした16チームが参加し、プロを目指す小学生が競い合う大会。田村さんは打撃や守備などの5回の選考を勝ち抜きメンバーに。

田村さんが野球を始めたのは小学1年のとき。兄の練習や試合を見て「自分もやってみたい」と思ったのがきっかけだった。そして3年のとき、父親の知人だった八代ジュニアスターズの野村利昭監督に声をかけられ入団。仲間とともに練習を重ね、実力を付けてきた。現在、火曜から木曜は八代で、週末は福岡で練習するという多忙な日々を送るが、「ヒットを打ちたい」、「レギュラーになりたい」という強い思いのもと、厳しい練習にも全力で取り組んでいる。



恩師・野村監督と田村さん

努力を近くで見守ってきた父親の勇喜さんは「監督に相談しながら毎日、自主練習を続けている。努力をしてきたからこそ、ジュニアチームへの選出は3年連続。先輩たちがジュニアチームで背負ってきた背番号18を引き継ぎ、「先輩方の活躍に倣って頑張りたい」と気持ちを込める。

支えてくれる家族や監督、仲間のため、そして将来の夢である「プロ野球選手」への大きな一歩として、今月の大会にも全力を尽くす。

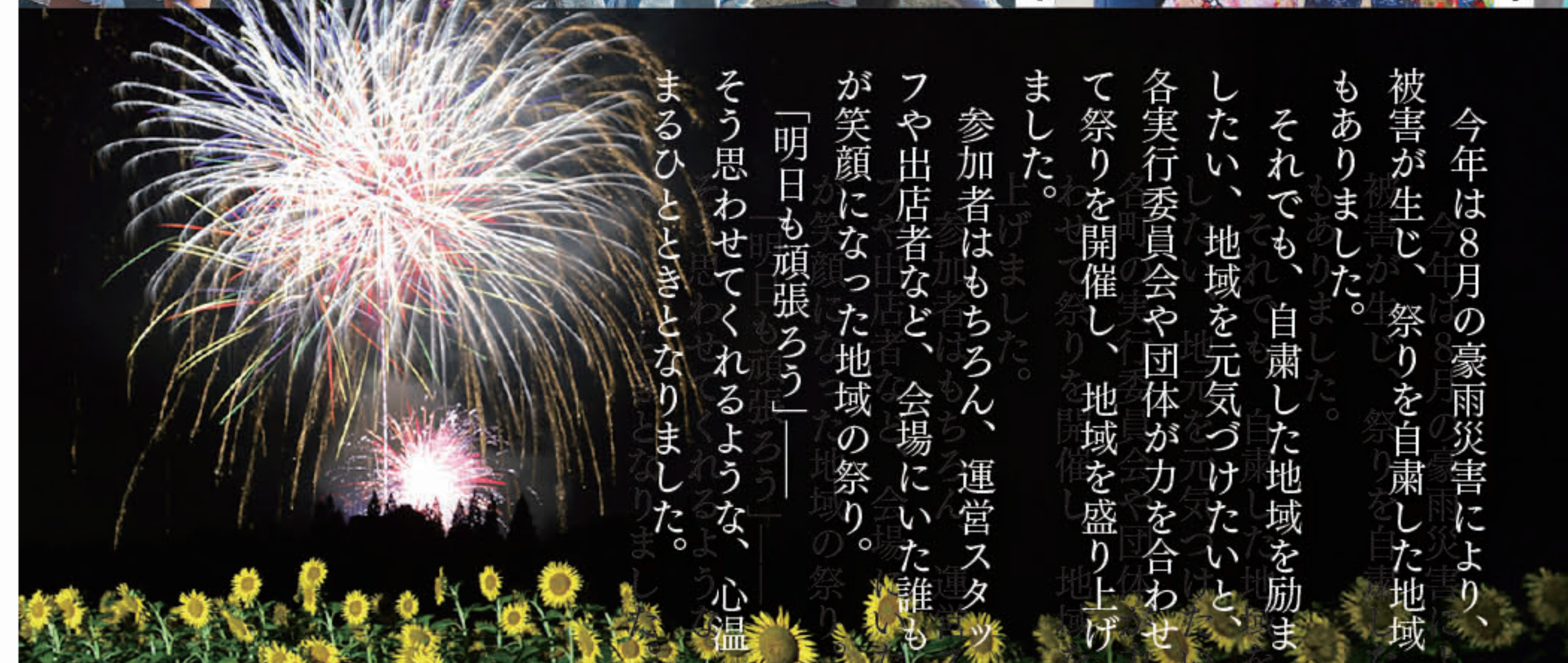
アチームのメンバーに選ばれたのは本心にうれしい」と目を細める。

田村さんは、父親から言われた「人間性が良くないと野球も上手くならない」という言葉を胸に、あいさつや仲間への声かけも大切にしてきた。練習中も田村さんの声がグラウンドに響き渡る。

野村監督は「負けん気が強く、元気が良い。バッティングでは遠くへ飛ばす力に長けています。ジュニアチームでの活躍も楽しみ」と期待を寄せる。

八代ジュニアスターズからジュニアチームへの選出は3年連続。先輩たちがジュニアチームで背負ってきた背番号18を引き継ぎ、「先輩方の活躍に倣って頑張りたい」と気持ちを込める。

支えてくれる家族や監督、仲間のため、そして将来の夢である「プロ野球選手」への大きな一歩として、今月の大会にも全力を尽くす。



「明日も頑張ろう」
そう思わせてくれるような、心温まるひとときとなりました。



1 冷えてておいしいキュウリの一本漬け 2 たいまつ行列がまちを練り歩く 3 家族みんなでハイツ、チーズ！ 4 みんなで楽しくちびっ子踊り 5 よさこいで会場を盛り上げる 6 両者大健闘のダンスバトル



2025 地元笑顔 地域の祭り

今年8月の豪雨災害により、被害が生じ、祭りを自粛した地域もありました。

それでも、自粛した地域を励ましたい、地域を元気づけたいと、各実行委員会や団体が力を合わせて祭りを開催し、地域を盛り上げました。

参加者はもちろん、運営スタッフや出店者など、会場にいた誰もが笑顔になった地域の祭り。

「明日も頑張ろう」
そう思わせてくれるような、心温まるひとときとなりました。